

ほのほのだよ

～ 親子で楽しむ 絵本の世界 ～

今月は「歯」にまつわる絵本を紹介します。

6月4日～10日は歯と口の健康週間。保育園でも24日に歯科検診があります。

絵本を通して、「歯の大切さ」や虫歯について、楽しく知れる機会を作っていきたいと思います。

「わにさんどきっ はいしゃさんどきっ」

出版社：偕成社

作・絵：五味 太郎

ワニの患者さんと人間の歯医者さん。

「ドキッ!」「こわいなあ・・・」

同じ言葉の掛け合いからお互いの気持ちの違いがユーモラスに描かれています。歯医者さんとワニさんの表情からも気持ちが伝わり、見るだけでも楽しい。少し大きくなって言葉の面白さがわかるともっと楽しい。そんな1冊です。



「はははのはなし」

出版社：福音館書店

作・絵：加古 里子

どうして虫歯になるの？歯はなんで大切なの？

この絵本には「バイキンさんがね」や「歯ブラシマンがね」のような表現は出てきません。

甘いものを食べると、その中には砂糖がたくさん入っていて、それが口の中で「酸」になって…と歯について「本当の事」を知れる絵本。でも決して難しいお話ではなく、分かりやすく楽しく読める1冊です。

